

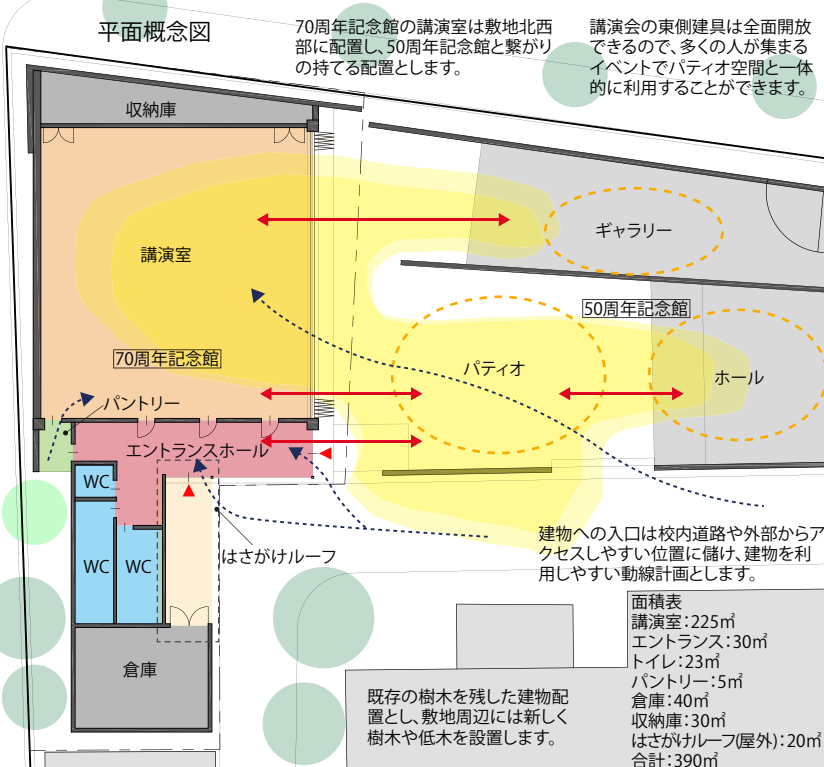
歴史を紡ぐ筑駒メモリアルホール

学校創立より続く米作りの伝統をモチーフとした“はさがけルーフ”
70周年～100周年へと伝統をつなぐ建築を目指します。



歩道から建物全体を見る。はさがけルーフのある大きなエントランスは使いやすく入りやすい印象となります。

□ 50周年記念との連携を考えた、ゾーニングイメージ



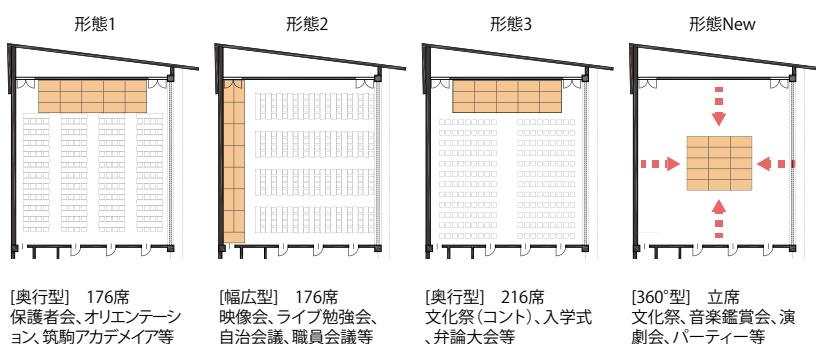
□ 筑駒らしい素材の提案

はさがけをイメージした“はさがけルーフ”は外部からアクセスしやすい分かりやすいエントランス空間となります。道路側の壁面には校章をモチーフとしたRC造の外壁を設置します。



ロータリー側からの見えはさがけルーフが筑駒らしい記念館としての顔を作ります。

□ 多様なレイアウトイメージ



50周年記念館の外壁と連続するメモリアルウォール(麦型のデザイン型枠)道路側からセットバックすることでボリューム感を抑え周辺環境に配慮します。

生徒の自主性を育む筑駒ホール

“行事を通して学ぶ”という校是のもと、生徒の自主性・創造性を最大限に活かし、行事や様々な活動を行うことができる「筑駒ホール」を提案します。講演室の天井は全面をトラス構造で構成し、天井面のどこにでも設備機器や工作物を設置することができます。この空間は筑駒祭や様々なイベントにおいて生徒の創作活動を自由に行うことができる舞台装置となり、50周年記念館側の建具を全開放可能とすることで既存のパティオ空間と一体的に利用することができます。新しい講演室、それは保護者会や合唱コンクール、SSH、入学説明会、試験会場、講演会等、様々な催事に柔軟に対応できるメモリアルホールです。



センターステージを配置したイメージ。天井は木質にすることで、温かみのある空間とします。



北面を背にステージを配置したイメージ
東側は大きく開く窓によってパティオと繋がる



パティオスペースと講演室の一体的な利用。

□周辺環境と対話し、活動を拡張させる断面計画

50周年記念館、周辺環境に配慮した配置、ボリューム計画とします。全開放建具により外部と内部の一体利用を可能にし、生徒たちの活動の場を拡張します。建具外部には十分な底下空間をとり、雨天時にも必要に応じて開放することができます。大空間を実現する合理的な屋根のトラス構造は、イベント用設備スペースとして利用できるだけでなく、室内の解放感も生み出します。

